

第20回CN専門委員会 次第

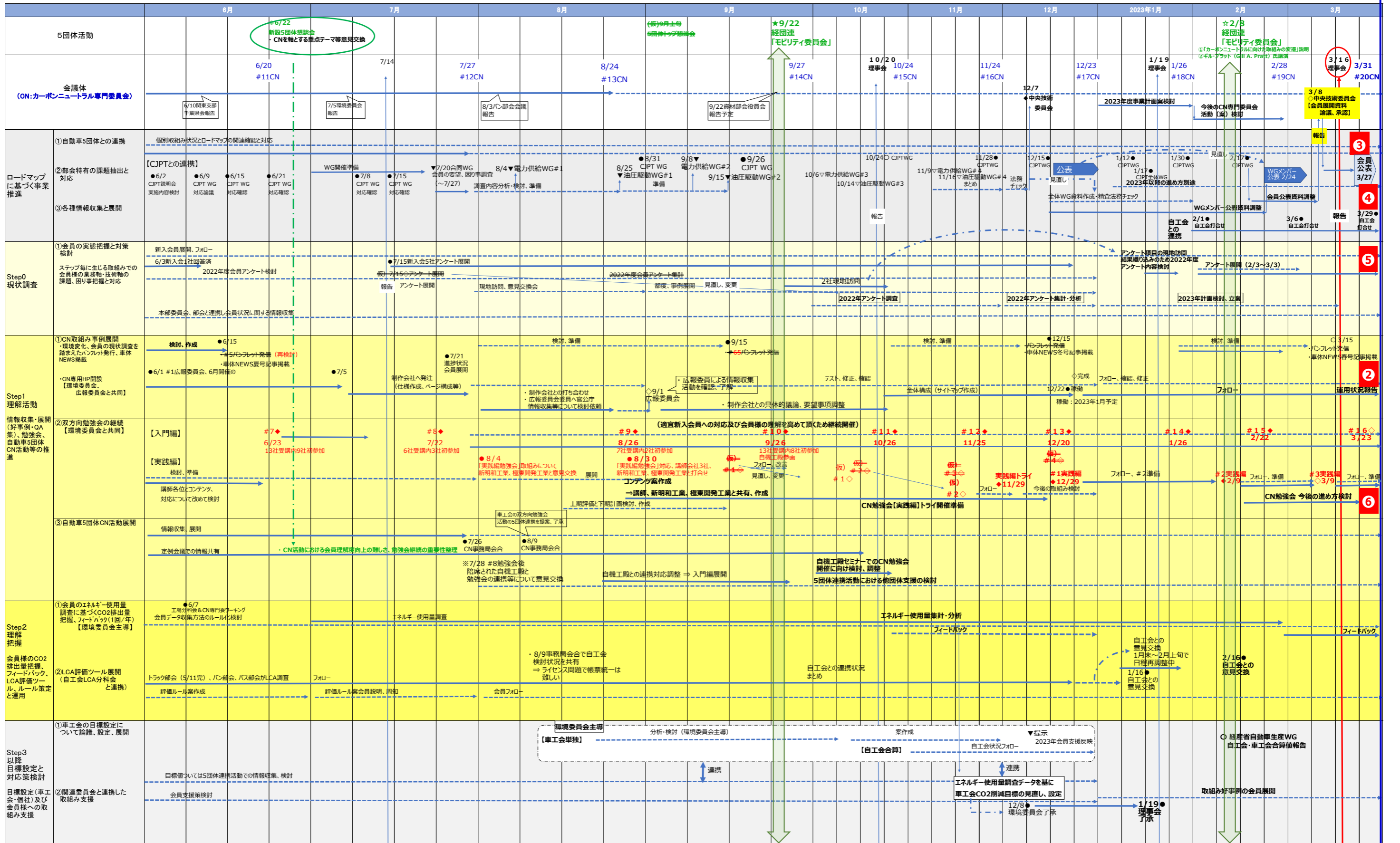
1. 進捗確認【資料配布】
2. CN専用ホームページ運用状況【報告】
3. CJPT※との連携活動 ※CJPT : Commercial Japan Partnership Technologies
ワーキンググループ活動の会員展開についてのご報告【報告】
4. 自工会 大型車委員会 大型車企画部会
サポートメンバー打合せ【報告】
5. 2022年度 CNアンケート調査【報告】
6. CN勉強会【入門編】今後の計画状況【報告】
7. 年度末メッセージ 木村相談役様

2023.3.31
車工会 事務局

カーボンニュートラル取組み(2022年6月～2023年3月)

【2 3 4 5 6】: # 20 委員会 次第個別報告事項

現在



CN専用ホームページ運用状況

2023年3月31日

【CN専用ホームページ運用状況】

【閲覧件数TOP30】 (グーグルアナリティクスデータ)

・2022/12/22リリース後の閲覧状況(～2023/3/24)

【概要】

リリース後HP閲覧数上位にランクインしており、会員の皆様に関心を持って見ていただけていると判断する (右図)

閲覧件数詳細

CN専用ページの閲覧件数

3,563件 (右図のCNの合計+ランク外のCNページ)

⇒全体 (68,829件) の約5.2%

ページ	ページビュー数
	68,829 全体に対する割合: 100.00% (68,829)
トップページ	11,274 (16.38%)
入会案内	2,314 (3.36%)
団体概要	2,150 (3.12%)
安全への取組み	2,116 (3.07%)
新着情報トップ	2,026 (2.94%)
役員一覧	1,810 (2.63%)
働くクルマ図鑑	1,625 (2.36%)
車体工業会って何?	1,534 (2.23%)
安全に関するニュース	1,412 (2.05%)
Jabia shop	1,363 (1.98%)
新着情報(コロナ)	1,269 (1.84%)
生産台数	1,219 (1.77%)
団体情報 組織	1,151 (1.67%)
新着情報(エコカー減税)	1,080 (1.57%)
CN	856 (1.24%)
解体マニュアル	843 (1.22%)
CN	826 (1.20%)
環境保全に向けた取組み	806 (1.17%)
トップページ	779 (1.13%)
JABIA規格	639 (0.93%)
車体NEWS	610 (0.89%)
環境保全に向けた取組み	557 (0.81%)
安全への取組み	555 (0.81%)
会員トップページ	550 (0.80%)
トップページ	548 (0.80%)
新着情報(CN基礎知識)	449 (0.65%)
新着情報(法規改正)	430 (0.62%)
お問い合わせ	428 (0.62%)
CNの基礎知識	425 (0.62%)
新着情報(法規改正)	406 (0.59%)

・CN専用HP閲覧状況の推移（2022年度12月22日～3月24日）



・2022年度CNアンケート回答（3/29時点）

回答総数 245

①活用している	75 (30.6%)	} 約92%の会社がHPの存在をご存じと回答
②知っているが活用できていない	151 (61.6%)	
③知らない	15 (6.1%)	
④未回答	4 (1.6%)	

【今後の対応】

- ・定期的な閲覧状況のチェックとユーザー要望を踏まえたコンテンツの追加・見直しの実施
- ・アンケート回答で「知らない」と回答のあった会社への情報発信

APPENDIX

【CN専用ホームページ運用状況】

使い勝手向上アイテムの織り込み（2023/1/20～）

広報委員会委員からのフィードバック

- CNページ全体の「**サイトマップ**」を常に表示し、どのページからでも閲覧したいページへの移動が可能となるとより使い勝手が良い
- 「**CNトップページに戻る**」ボタンを設定し、どのページに遷移してもワンアクションでトップページに戻ることが可能となるようにするとユーザーに親切

このスクリーンショットは、CN専用ホームページのトップページを示しています。ページの上部には「日本自動車車体工業会」のロゴと検索バーがあります。メインビジュアルには「会員ページ カーボンニュートラル Carbon neutral」と表示されています。下部には「ようこそ 一般社団法人 日本自動車車体工業会様」という挨拶文と「注目情報」のセクションがあります。右下隅には「CN サイトマップ」と「CN TOPへ戻る」のボタンが配置されています。このボタンが赤い枠で囲われ、矢印で「CN サイトマップ」というラベルが付けられています。

CN サイトマップ

カーソルをあてるとCNページ全体のサイトマップが閲覧可能
マップの中の項目をクリックすると当該ページに遷移

このスクリーンショットは、CN専用ホームページのトップページを示しています。ページの上部には「日本自動車車体工業会」のロゴと検索バーがあります。メインビジュアルには「会員ページ カーボンニュートラル Carbon neutral」と表示されています。下部には「ようこそ 一般社団法人 日本自動車車体工業会様」という挨拶文と「注目情報」のセクションがあります。右下隅には「CN サイトマップ」と「CN TOPへ戻る」のボタンが配置されています。このボタンが赤い枠で囲われ、矢印で「CN TOPに戻る」というラベルが付けられています。

CN TOPに戻る

どのページからでもワンクリックで
TOPに戻ることが可能

会員各位

車体発22第286号

商用車電動化ワーキンググループ活動についてのご報告

2023年3月27日

(一社)日本自動車車体工業会

中央技術委員会

はじめに

今般、自動車のライフサイクル全体でのカーボンニュートラルを目指すなか、商用車の電動化は避けられない潮流になったと言えます。これに伴い架装物用動力に関して難しい課題が予想され、その解決に向けて'21年8月、車体工業会内WGでの議論を実施し、WGが考えた課題と要望を明確に致しました。

一方、本内容を含めた商用車電動化の課題などについてOEMと直接議論する場もない中で、この度OEM4社^{*1}が加盟したCommercial Japan Partnership Technologies株式会社(以下CJPT)と連携しWGを立ち上げました。電動商用車全般に関して意見交換を行う機会となり、情報・課題の共有が進みました。この度WGが終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

— 記 —

1. 背景と目的：

商用車のカーボンニュートラル方針が政府より示された中で、架装メーカーと車工会・CJPTが対話を通じ課題を共有し、今後の個社での架装・シャシ開発を円滑に行うための検討を実施

2. WGの概要：

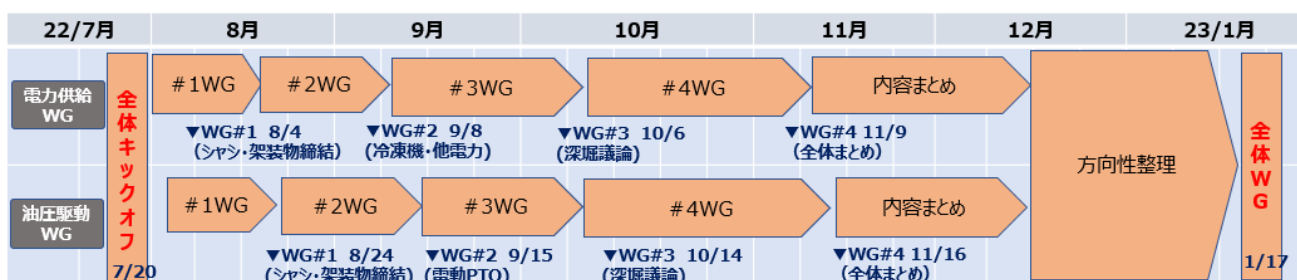
【参加メンバー】

事務局	参加メーカー
日本自動車車体工業会・CJPT(いすゞ+トヨタ)	全36社(車工会会員+日冷工冷凍機関連メンバー)

【対象カテゴリ】

車両クラス	WGカテゴリ	
小型トラック GVW : 3.5-8.0t	電力供給WG 25社	油圧駆動WG 15社
	冷凍車・ウイング車・テルガー・トリパー等	塵芥車・高所作業車等

【スケジュール】



*1)いすゞ・スズキ・ダイハツ・トヨタが参画(2023年3月現在)

3. 架装メーカー要望および共有した課題

項目	要望	共有課題
① 代替動力	<ul style="list-style-type: none"> ・電動 PTO の設定 ・24V 電源/電力の残置 ・冷凍コンプレッサー駆動用動力の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・電動 PTO の特性及びレイアウト ・架装物レイアウト成立性 ・電力供給のみとした場合の問題点
② 通信制御	<ul style="list-style-type: none"> ・当面のアナログ通信対応 ・今後 CAN 通信化時の仕様 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャシ側アナログ信号対応 ・CAN 通信化のタイミング ・通信制御信号詳細の整合
③ 電力消費最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して電動化車両を使用できる エネルギーマネジメント ・電力供給の要望確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・架装物毎の必要電力量把握 ・安全確保、運搬物保護に必要な ドライバー裁量への対応 ・コネクティッド技術の有効活用
④ 架装物締結	<ul style="list-style-type: none"> ・既存架装構造継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は今後個社対応必要 (シャシレイアウト・架装物締結等)
⑤ 架装支援	<ul style="list-style-type: none"> ・架装工事に関わる 既存工場・法規への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者への高電圧教育対応 ・工場内高圧ガス法規への対応 ・架装車両への充電・水素供給の設備 ・架装資料記載内容
⑥ 関連法規	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・R10(電磁両立性) ・R100(高電圧からの乗員保護) ・R155/156(サイバーセキュリティ) 等の適合

4. まとめ・今後の進め方

- (1) WG メンバー全員の電動商用車及び架装課題への理解が深まった
- (2) 会員より WG 継続要望あり
- (3) 車工会内に「商用車電動化窓口」を設置し、課題の取りまとめと対応を進めていく

以上

自工会 大型車委員会 大型車企画部会 サポートメンバー打合せ

2023.3.31
車工会 事務局

1. 報告趣旨

これまで自工会との連携活動は、大型車部会中心であったが、商用車電動化対応で当会要望に対し、回答いただかず、CJPTとの連携活動を行ってきた。2月より自工会事務局と対応を協議し、**大型車委員会傘下の大型車企画部会との連携を模索し、同部会活動のサポートメンバーと意見交換を行ったので報告する。**

注：**赤枠内** は大型車に関する組織

<自工会委員会組織 2020.10.1>



2. 内容

- 1) 日 時 2023年3月29日 10:00~11:15
- 2) 場 所 自工会 9会議室
- 3) 出席者

区分	氏名（社名／役職）	
自工会 (8名)	橋本 泰典	(いすゞ自動車(株)／広報・渉外部 渉外グループ グループリーダー 担当部長)
	馬場 康友	(いすゞ自動車(株)／広報・渉外部 渉外グループ 担当部長)
	越前 晃	(三菱ふそうトラック・バス(株)／企業渉外・環境部 部長)
	保泉 亜樹	(日野自動車(株)／渉外広報部 渉外グループ 主幹)
	森田 治孝	(UDトラックス(株)／渉外担当部長)
	平松 義久	(自工会／次世代モビリティ領域 部長)
	鈴木 洋史	(自工会／次世代モビリティ領域 主幹)
	三井 宏紀	(自工会／自生第モビリティ領域 専門職)
車工会 (5名)	長田 善彦	(新明和工業(株)／特装事業部品質保証部 部長)
	原田 修	(極東開発工業(株)／技術本部営業技術部 部長)
	吉田 量年	(車工会／専務理事 事務局長)
	杉崎 満	(車工会／事務局次長)
	板倉 範顕	(車工会／事務局次長)

2. 内容

4) 概要

(1) 確認・共有事項

- **情報共有は重要であり、自工会、車工会での連携活動を進める方向で、OEM各社は自社に持ち帰り検討。**
- **検討に際し、社内との関係部門の進め方を確認し進める。**
- **自工会、車工会間の協調については、OEM4社の理解が必要。**
- **これからが電動車のスタートであり、OEMとして現時点で車体架装に関する課題の取りまとめは難しく、車工会から具体的な課題を提出して欲しい。**
なお、OEMとして車工会との情報共有が必要な場合は本ミーティングを活用。
- **自工会の大型車における法規対応は「大型車部会」であり、それぞれの役割に応じ連携を図る。**
- **本ミーティングは、定期開催ではなく、必要の都度開催。**

2. 内容

4) 概要

(2) 主なコメント

- 技術的な話し合いに入る前に**相互の情報共有**が必要と感じる。
- OEMが作成する架装要領書もEVに関し3社が準備している。例えば、**これらの共通部分を自工会事務局が整理し、アナンスすることから始められないか。**
- **シャシレイアウトが決まった上での架装となるため、車体架装の検討は時間的に制約される。**
- EVでキャブシャシ構造は変わるが、**車型に関する要望は相談して貰えると思う。**コネクテッドを含め、一度に解決することは難しい。また、**EV車の購入は環境意識が高いお客様からとなると思う。**
- **協調にはOEM4社の理解が必要。**
- **OEMとしては架装メーカーとのコミュニケーションが大事。**現状は各社が個社対応させていただいている。**EVは進めながら課題を確認し取り組んできているところであり、今後も同様に個社対応となると思う。**

2. 内容

4) 概要

(2) 主なコメント

- **EVにおける課題解決では、OEM、架装メーカーそれぞれでの取組みが必要であり、どのように話し合い、連携していくのかが重要。**また、**自社内の関係部門ともどのよう**に進めていくのか検討する必要がある。
- **車工会内の動力源WGでの課題、検討事項で共有**できるものがあれば教えて欲しい。
⇒ 2022年2月に自工会大型車部会に車工会要望を提案するため活動してきたが、大型車部会からは回答いただけなく、**現状は休止状態。OEM各社の共通事項としての情報提供を自工会にお願いする場を持ちたい。**OEM各社は、EPTOに関しても様々な考え方があることは理解しているが、**指針が欲しい。**
⇒ **EV車の市場投入を行っているが、現状がスタートであり、指針を含め、現時点でOEM各社の状況を取りまとめることは難しい。**車工会からは、**具体的課題**を出してもらいたい。

3. 今後の進め方

- ・ **自工会との新たなチャンネルを設定**できたことは、連携強化に繋がり、車工会としては個社の困り事を含め、**CJPTとの連携活動と並行し、都度情報共有のため、本ミーティングを積極的に活用**する。
- ・ **CJPTとの連携活動は6月まで個社対応**としており、その後必要に応じWG活動を開催する予定。**6月までに車工会として共有できる課題については、本ミーティングでの情報共有を検討、提案**する。

<参考：CJPTとの連携活動>

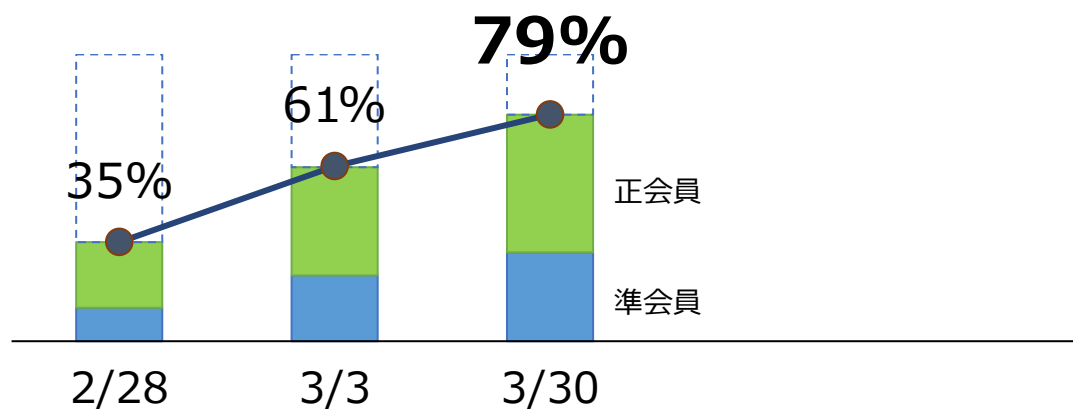
'23/3	4	5	6	7～
CJPTとしての活動	個社対応			CJPTとしての活動
▽公表				
活動まとめ 公表準備	個社×架装メーカー 課題確認/対策検討推進			個社検討 結果共有 (CJPT内) 車工会 への 展開検討

2022年度 CNアンケート調査

2023年 3月31日
CN専門委員会 事務局

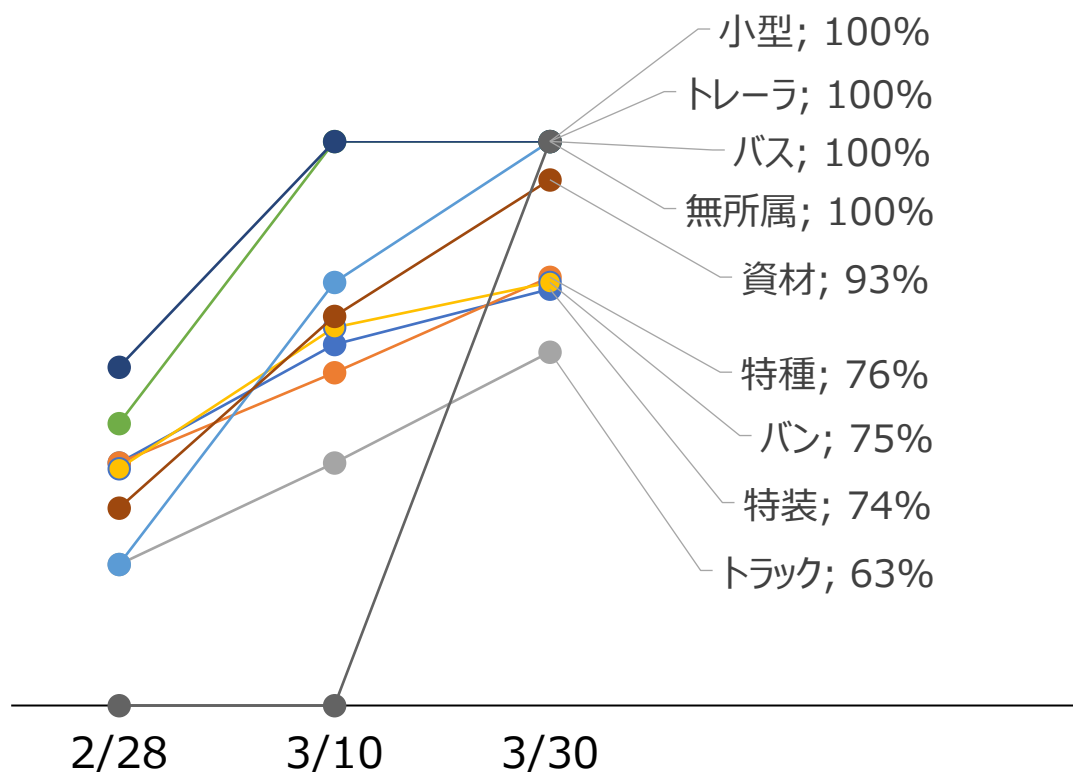
① 回答率推移 (全体)

	依頼	回答	回答率
全会員^{※1}	310 社	245 社	79%
正会員	207 社	149 社	72%
準会員	103 社	96 社	93%



② 回答率推移 (部会別^{※2})

↓ 会員数が多い順 ↓	依頼	回答	回答率
資材部会	103 社	96 社	93%
トラック部会	75 社	47 社	63%
特種部会	54 社	41 社	76%
特装部会	42 社	31 社	74%
バン部会	24 社	18 社	75%
小型部会	5 社	5 社	100%
トレーラ部会	4 社	4 社	100%
バス部会	2 社	2 社	100%
無所属	1 社	1 社	100%



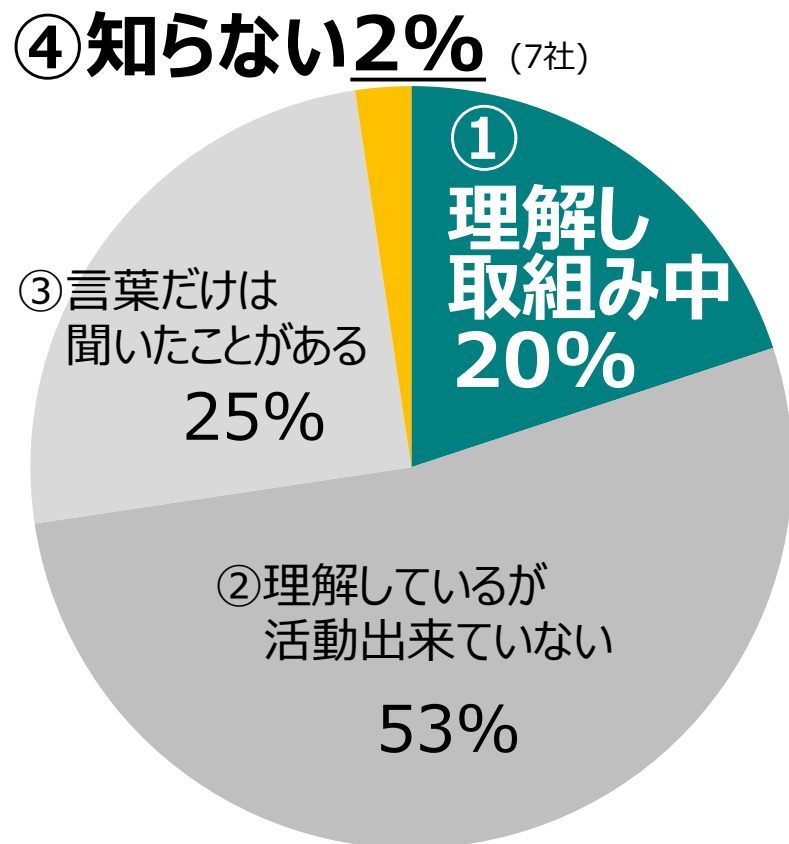
※1：他団体に主所属、回答辞退の会員7社を除く

※2：複数の部会に所属の会員は、生産台数の多い車型の部会とする

1) CN理解度

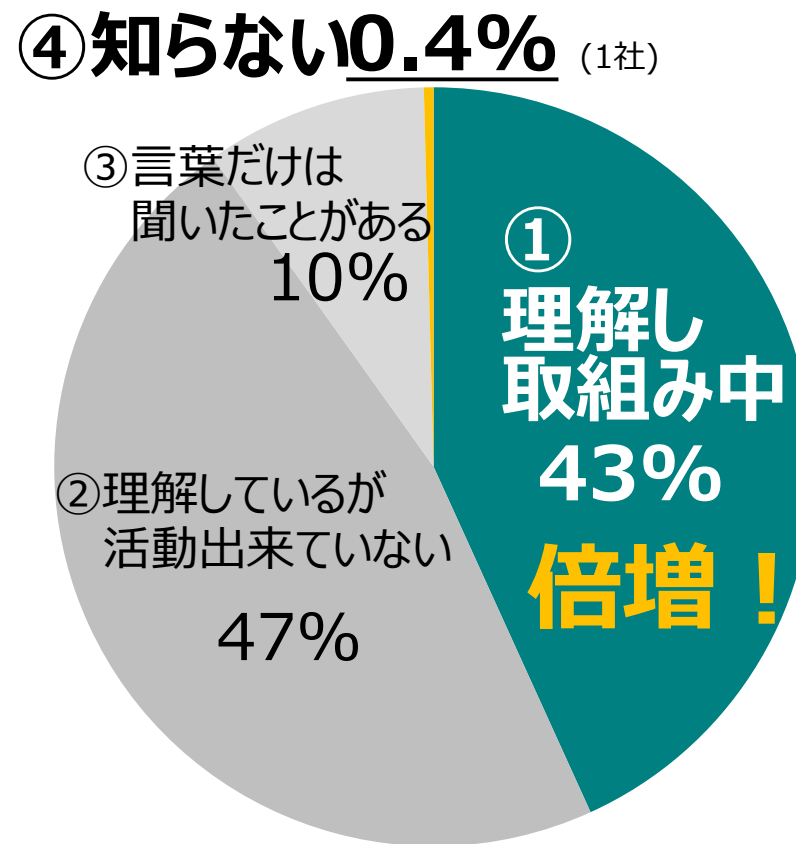
[カーボンニュートラル(CN)を知っていますか？]

2021年度（'21/7実施）



回答数 296 社

2022年度（'23/2実施）

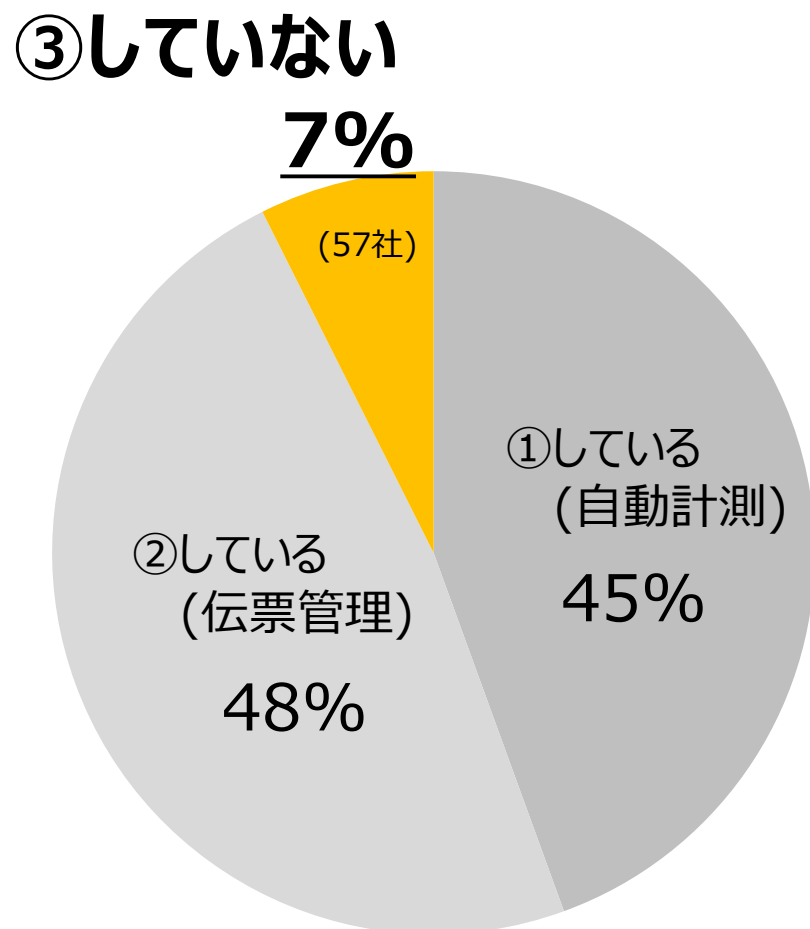


回答数 245 社

2) エネルギー使用量把握

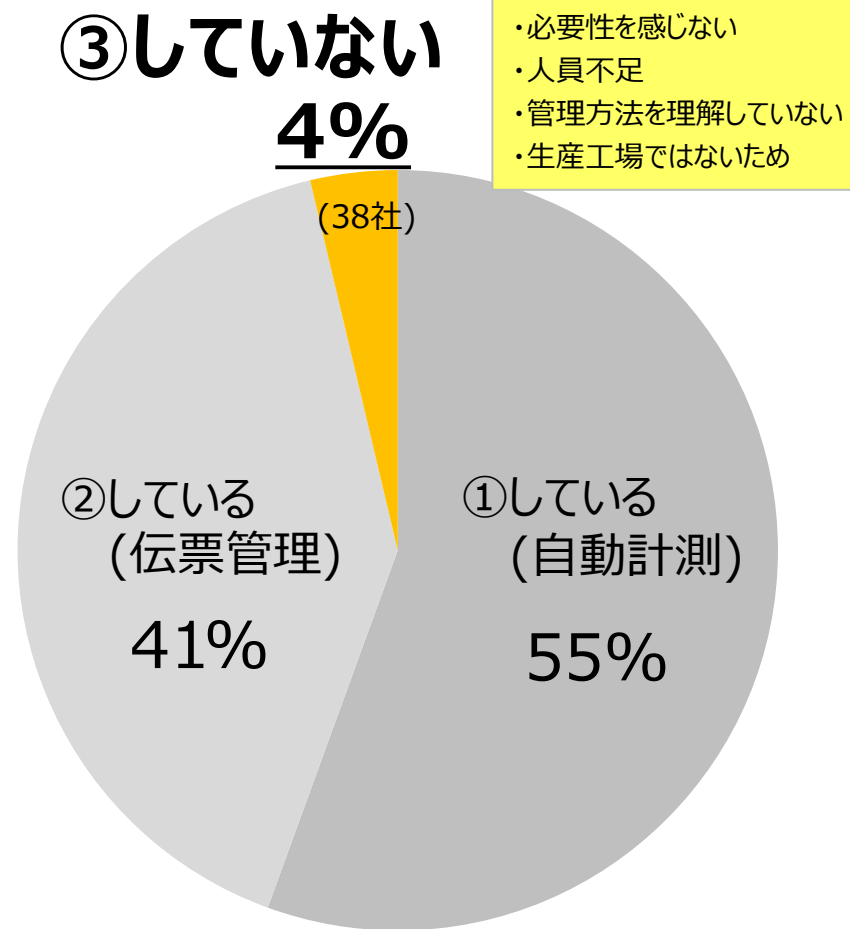
[事業活動で使用するエネルギー使用量を把握、記録していますか？]

2021年度（'21/7実施）



回答数 295 社

2022年度（'23/2実施）



回答数 245 社

3) CO2排出量把握

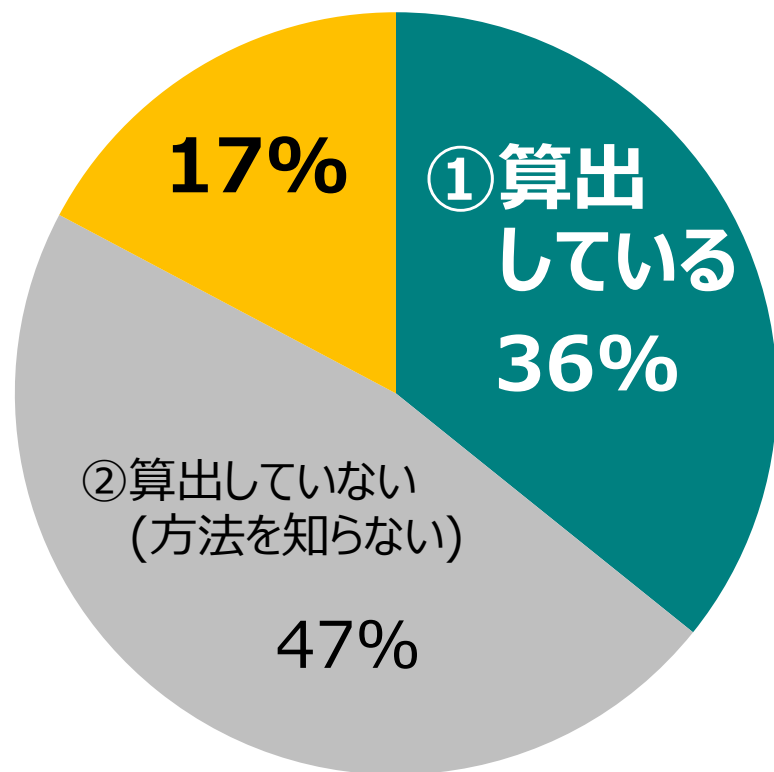
〔CO2排出量を算出していますか？〕

※エネルギー使用量を把握している会員の回答

2021年度（'21/7-10実施）

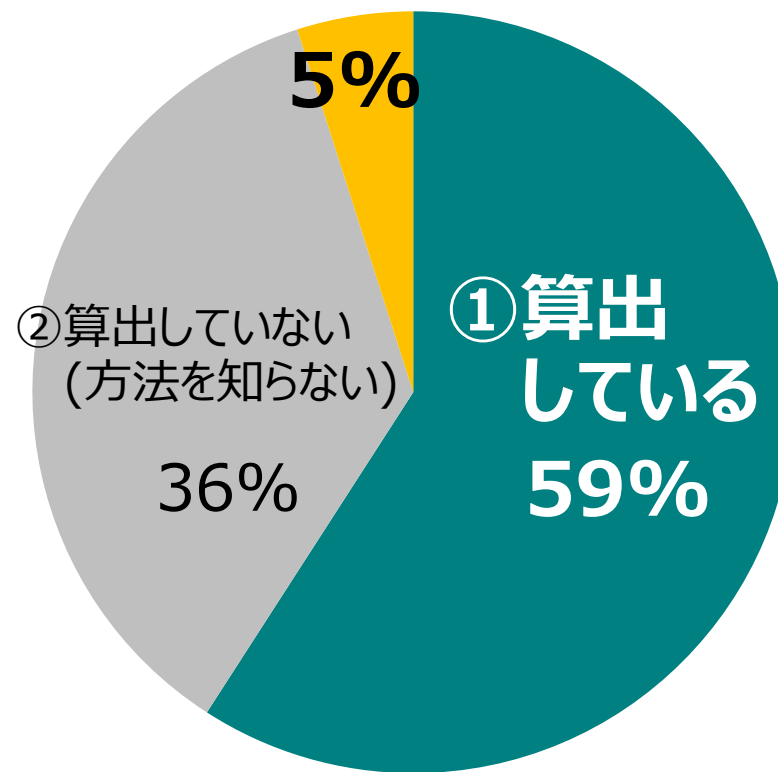
2022年度（'23/2-3実施）

③算出する必要ない



回答数 232 社

③算出する必要ない

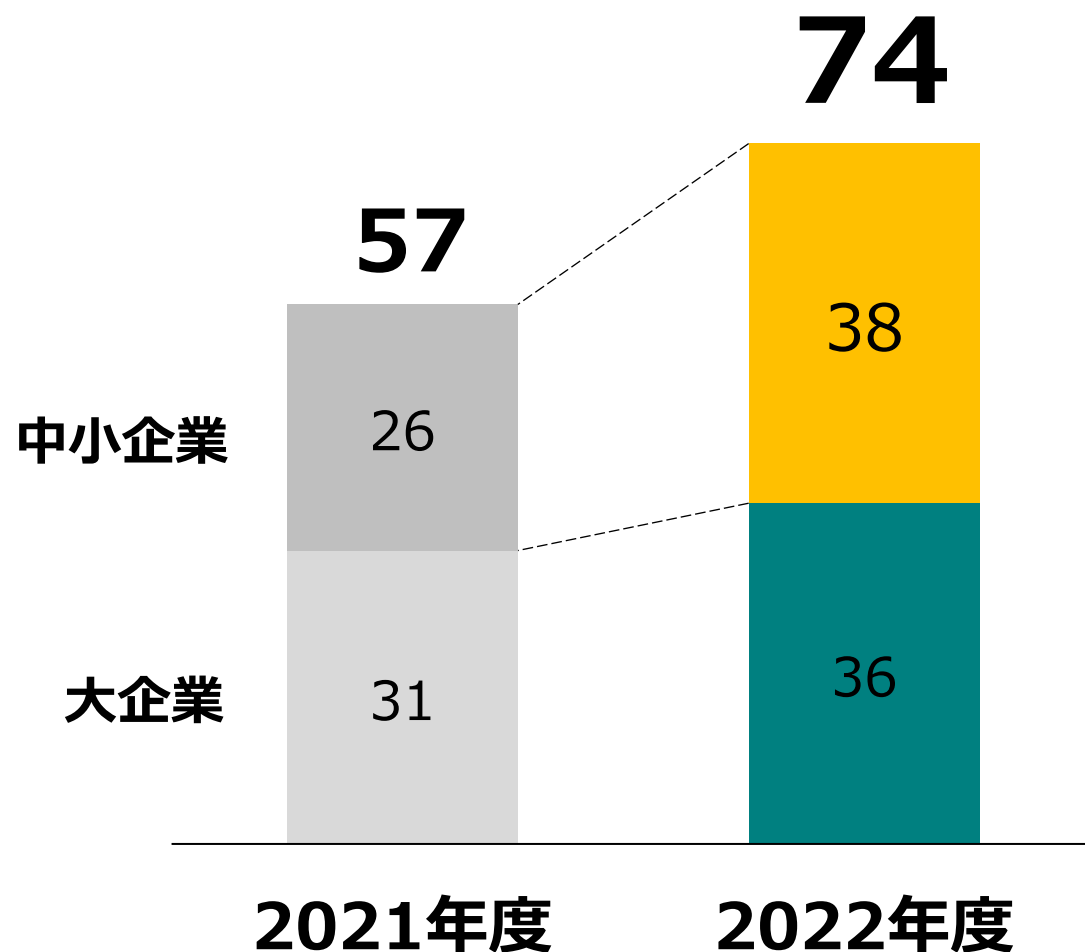


回答数 203 社

4) CO2低減目標

[CO2低減目標はありますか？あれば目標を教えてください]

目標がある会員



主な目標値

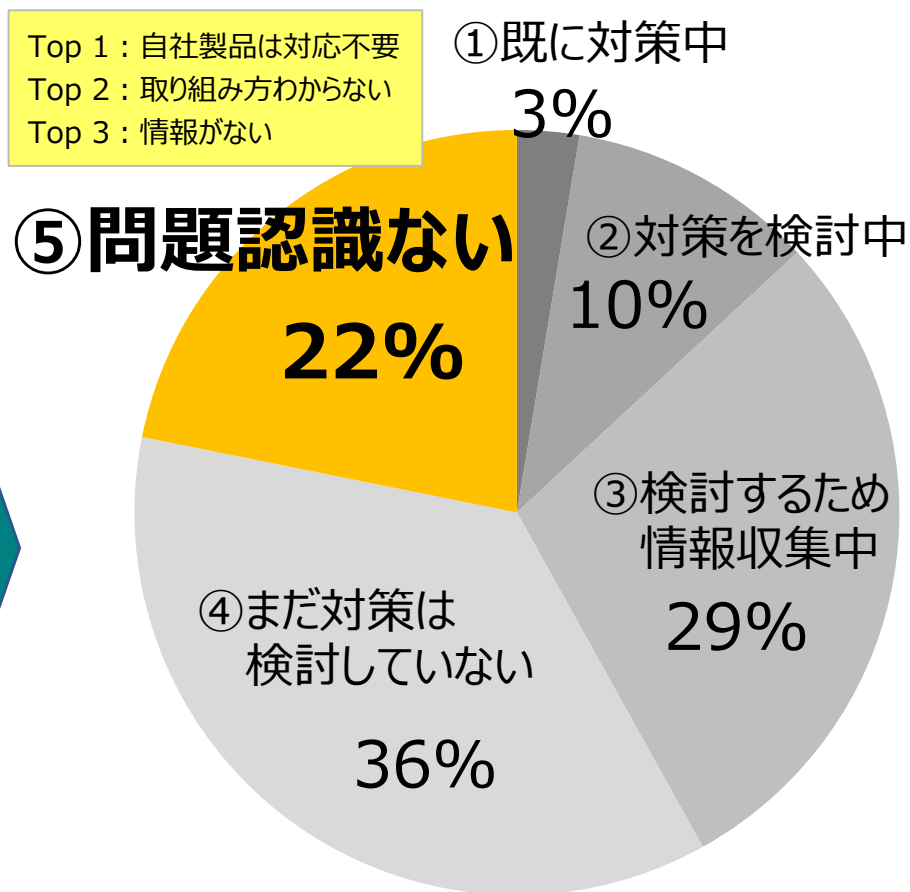
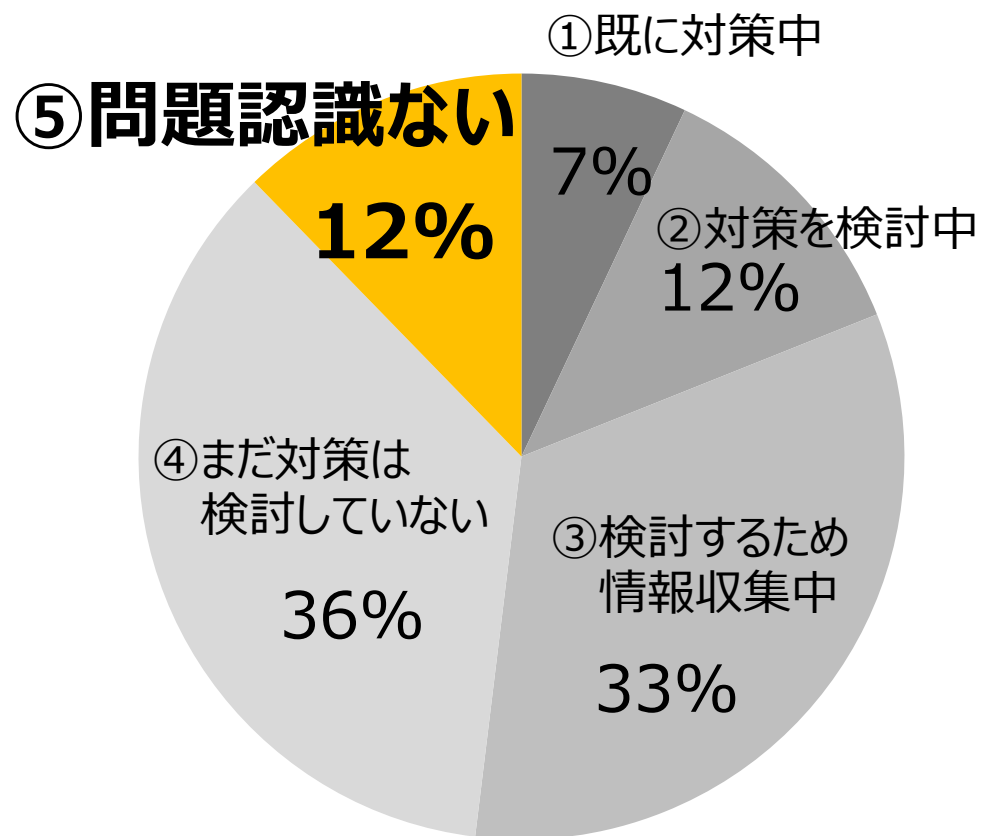
- ・2030年 **50%減**
(2013年比)
- ・2025年 **40%減**
(2013年比)
- ・年間 **2.4%減**
- ・年間 **1.0%減**

5) シャシ電動化への対応

〔シャシ電動化に伴う架装の問題について対策されていますか？〕

2021年度（'21/7-10実施）

2022年度（'23/2-3実施）



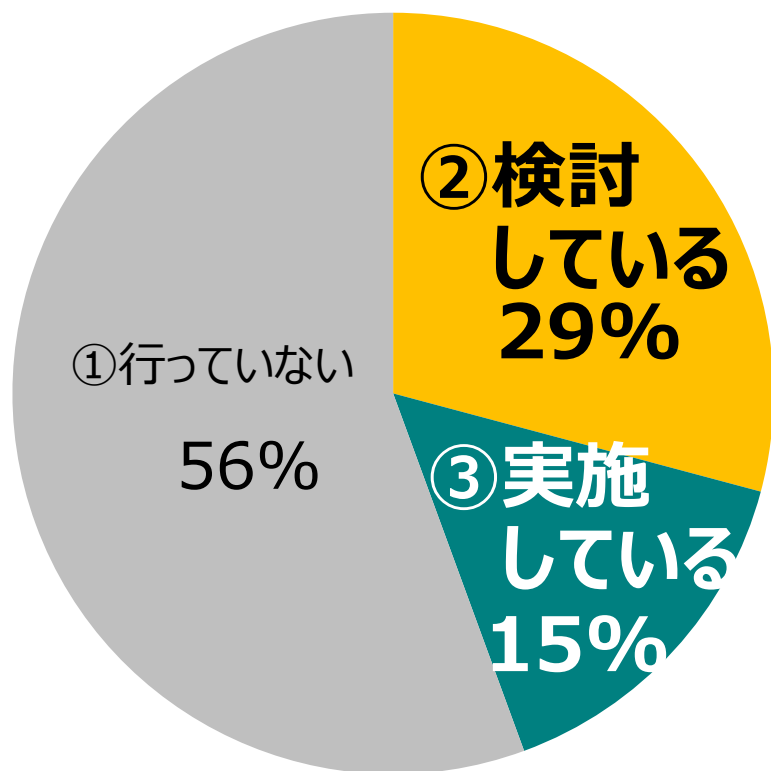
回答数 285 社

回答数 229 社

6) CN対応製品の設計

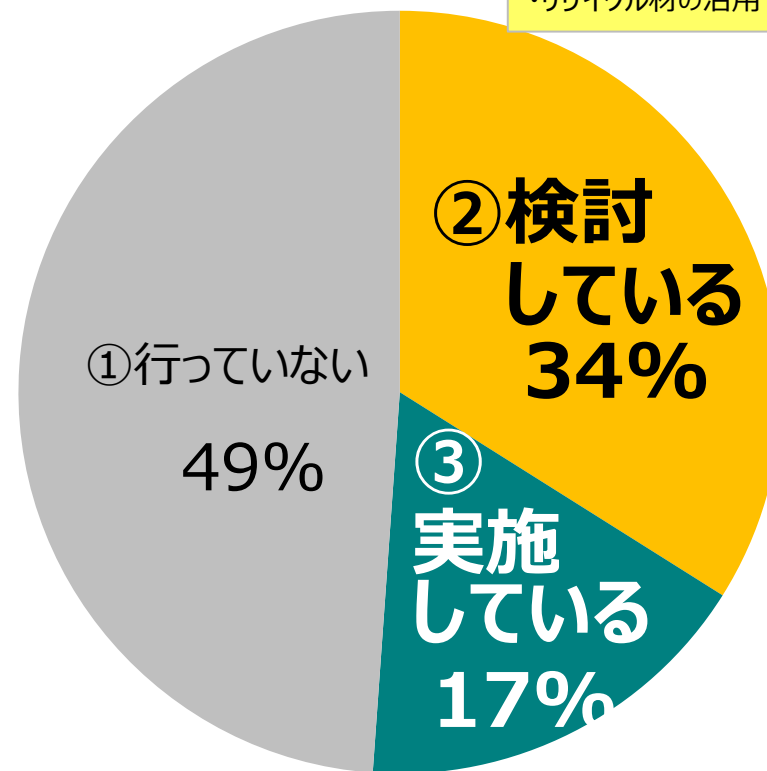
[製品等の開発段階からCNを意識した設計等を行っていますか？]

2021年度（'21/7-10実施）



回答数 295 社

2022年度（'23/2-3実施）



回答数 221 社

- ・溶接→ボルト接合への変更
- ・解体マニュアルの整備
- ・製品の軽量化設計
- ・リサイクル材の活用 他

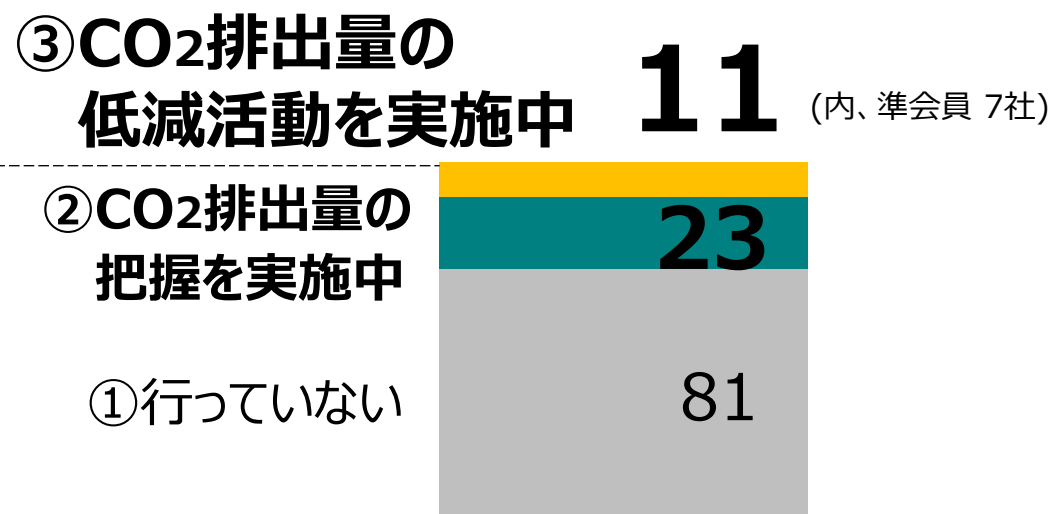
7) Scopeの区分と活動

[Scopeの区分を知っていますか？ Scope3の活動を行っていますか？]

Scopeの区分



Scope3の活動

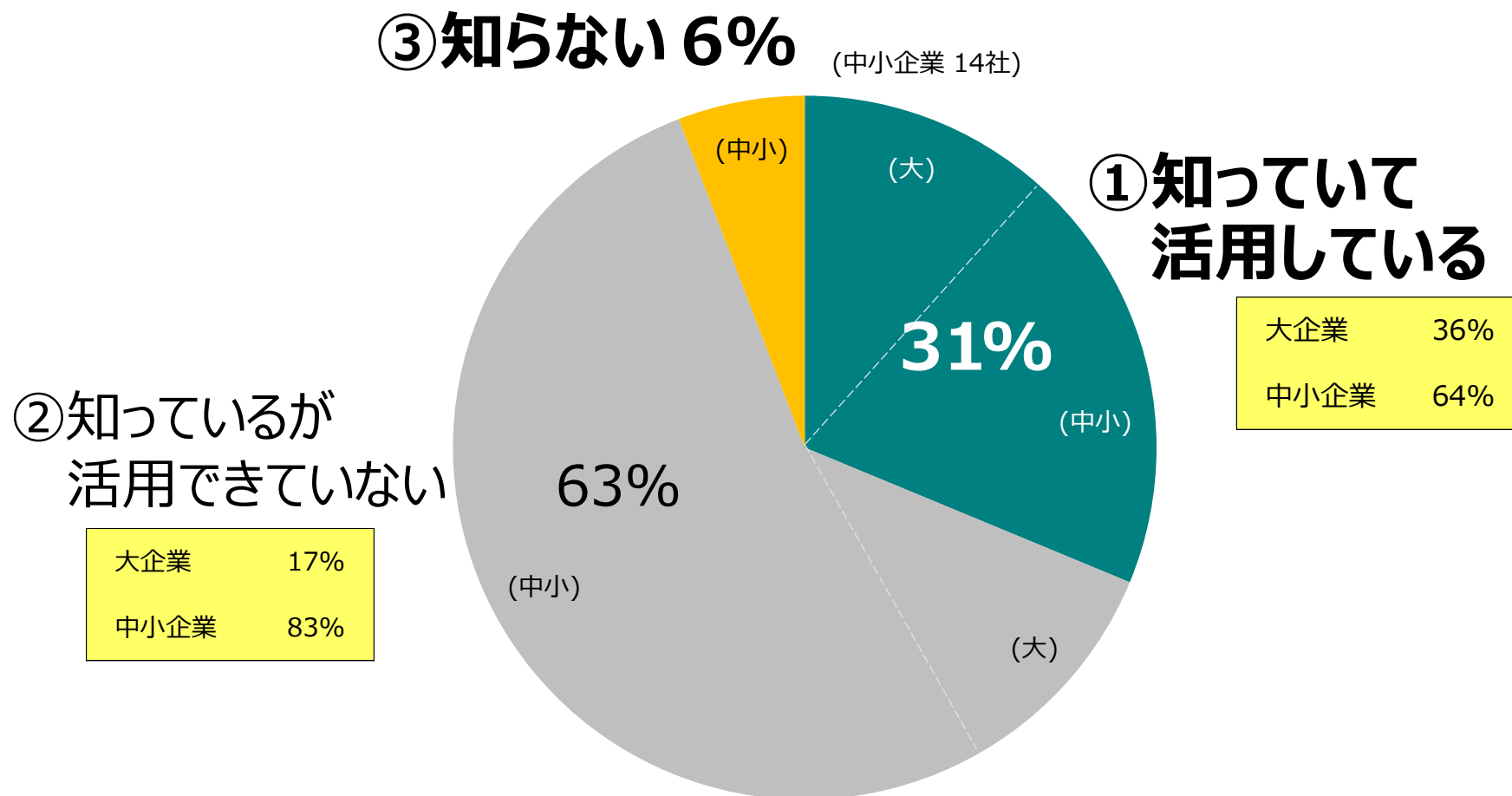


回答数 233 社

8) 車工会のCN活動

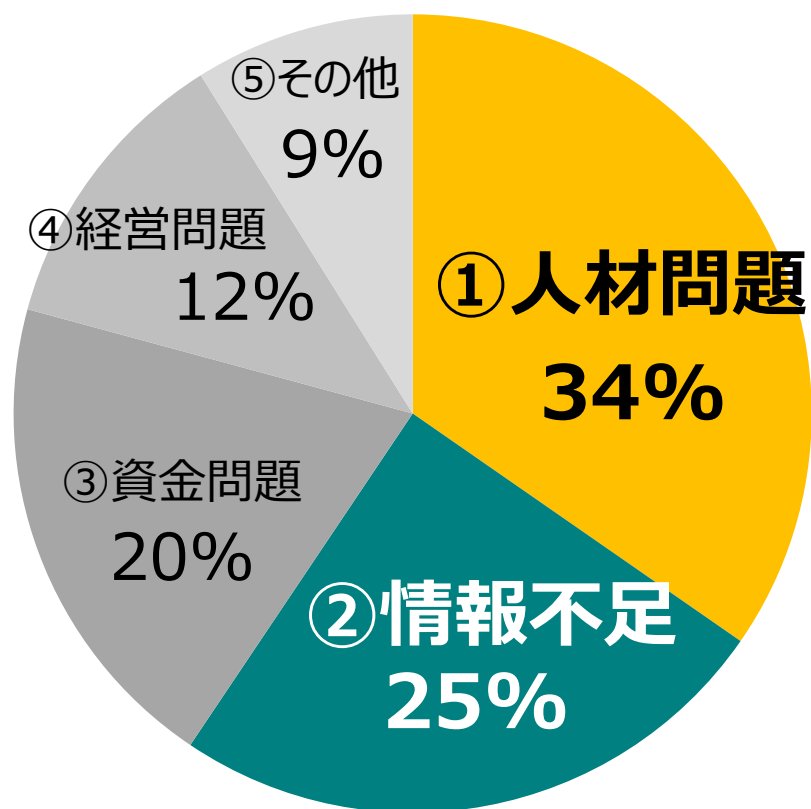
[車工会のCN活動（勉強会やHPのCN専用ページ等）を知っていますか？]

CN情報発信



回答数 240 社

9) 困り事や課題



回答数 94 社

主なコメント	
①	担当者を専任とすることが難しい
	CNに限らず人材不足
②	具体的な活動方法を知りたい
	Scope3データや分析の情報入手困難
③	省エネ設備導入への資金不足
	設備投資費用の高騰、部品の長納期化
④	CN対応をしても価格転嫁が困難
	社内にCN意識を浸透させる施策が必要
⑤	CN勉強会の実践編への参加をしたい
	社有車のエコカー切替えしたいが納期が未定

10) ご意見、ご要望

- ・具体的な他社事例などを参考に**取り組んで行きたい**。
- ・CN活動の**勉強会**を車工会**ホームページ**で動画などで見れるようにして欲しい。
- ・CO2低減事例やScope3の**他社の活動内容の紹介**をお願いします。
- ・業界の置かれた全般的な状況や方向性などの**情報などを共有して頂きたい**。
- ・**勉強会を開催して頂きありがとうございます**。次回は実践編に申込予定です。
- ・効果的な対策事例や分析手法について、**会員各社と意見交換を行う場を主催していただきたい**
- ・「カーボンニュートラル基礎知識」の**資料を社内教育資料として活用**させて頂いております。
- ・省エネ、生産性向上設備導入、教育訓練に関する**補助金情報が欲しい**。
- ・**HPが非常に分かり易く、社内教育に活用できる**。他社事例がもっと積上がると活用幅が増える。
- ・CN活動の**事例をできるだけ多く紹介して欲しい**。
- ・**アンケートをきっかけに車工会ホームページを拝見**し、CN情報が非常に多いことに気付いた。
- ・開催される**勉強会、講演会には積極的に参加させて頂きます**。

CN勉強会【入門編】

今後の計画状況

2023年 3月31日
CN専門委員会 事務局

現状の勉強会開催

WEB開催

開催：4回/年

講師：4名で輪番制

小型部会 3名

事務局 1名 計4名

※ コミュニケーションを取り進める



追加

① 動画配信 (入門編の解説)

HP活用

- CNを正しく理解するため、入門編の動画作成し知識向上・意識啓発を図る



メリット

自由な時間に視聴可能

理解出来るまで何度も確認可能

不明点はいつでも問合せ (HP→事務局へ)

② 講習会、セミナーの実施

- CN取組みの参考となるような、具体的な事例に特化した内容を検討

(株)パトライト様(準会員)と、開催検討中

「シンプルな見える化でエネルギーの無駄を見つける方法」

2. スケジュール

2023年度											
'23年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'24年1月	2月	3月
・CN勉強会【入門編】 4回/年開催											
	#17			#18			#19			#12	
・CN勉強動画											
制作	Web配信（随時、コンテンツ追加・更新）										
・講習会、セミナー 年1~2回											
(株)パトライト様セミナー検討				部工会開催に参加を検討							

CN勉強会【入門編】のテキスト・説明を動画へ 車工会ホームページにリンクを掲載 (会員限定ページ)

車工会HP



YouTube (リンク先) アカウント：日本自動車車体工業会

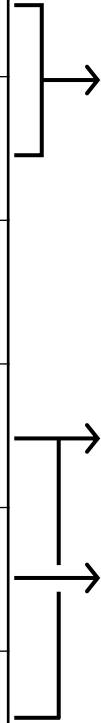


掲載方法：限定公開 (URLを知っているユーザーのみが動画を見られる)

10分程度の動画とし、コンテンツを分ける

NO	CN勉強会【入門編】
1	地球温暖化の現状
2	カーボンニュートラル（CN）とは
3	会員様のCN意識（アンケート結果）
4	何故、CNに取り組む必要があるのか？
5	CN取組みの進め方
6	CO2排出量の把握範囲
7	まとめ

NO	CN動画【入門編】
①	カーボンニュートラル（CN）の基礎知識
-	削除
②	何故CNに取り組む必要があるの？
③	CN取組みの進め方
-	②に織り込み
-	各動画のまとめに織り込み





作成中の動画紹介（3分16秒）

サンプル（AI読上げ版）

1/18

この動画の音声は音読さんを使用しています

車工会 CN勉強動画

カーボンニュートラルの基礎知識



一般社団法人 日本自動車車体工業会
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

CN専門委員会 事務局